



—東地中海地域ニュース—

トルコ：ダーヴトオール外相のイラク・シリア訪問

(8月31日 現地紙インターネット版)

8月31日付現地紙(インターネット版)は、ダーヴトオール外相のイラクおよびシリア訪問について報じている。概要は以下の通りである。

1. 8月31日、ダーヴトオール外相はバグダッドを訪問し、イラクのタラバーニー大統領、マーリキー首相及びズィーバーリー外相と会談した。イラク政府首脳との会談後、ダーヴトオール外相はダマスカスを訪問し、シリアのアサド大統領及びムアッリム外相と会談する。
2. ダーヴトオール外相は、イラク及びシリア訪問前の記者会見において、「我々は、イラクとシリアの間に信頼の土壌を再建するつもりである」、「もし、両国間で信頼関係や友好関係が築けたら、このような両国間の危機（注：イラク政府が8月19日にバグダッドで発生した爆弾テロに関与したテロリスト指導者をシリアがかくまっていると非難し、両国関係が悪化したことを指す）を克服するのが容易になるであろう」と述べた。
3. イラクのサバーハ紙によると、ダーヴトオール外相は、ズィーバーリー・イラク外相とムアッリム・シリア外相による緊急会談をアンカラにて開くよう、又、シリア国内の人物がイラクに対するテロを計画しているとの証拠をイラク政府が示すための治安会議を開催するよう両国に促す予定と報じた。